

富里の歴史 *history*

明治

1870年(明治3年) 七栄・十倉に開拓者入植。
 1871年(明治4年) 南関東を襲った暴風雨のため、七栄・十倉の開拓地に大きな被害。
 1872年(明治5年) 七栄・十倉村誕生。
 1873年(明治6年) 日吉倉小学校、新橋小学校、高松小学校が開校。農民の子弟も教育が受けられるようになった。
 1875年(明治8年) 大久保利通内務卿の強い後押しにより、旧高野牧(十倉・御料)と旧内野牧(七栄)の一部に下総牧羊場が開設される。
 1880年(明治13年) 下総牧羊場と取香種畜場が合併、下総種畜場と改称。近代牧畜の先駆けとなった。
 1881年(明治14年) 明治天皇、下総種畜場を行幸。
 1884年(明治17年) 「連合戸長役場制」により、七栄村をはじめ、日吉倉、久能、根本名、大和、新橋、中沢、新中沢、立沢、立沢新田、高松、十倉、高野の13か村が連合。今日の富里の基礎が築かれた。
 1885年(明治18年) 子爵・吉川経建が明治15年に払い下げを受けた十倉(金堀など)で植林事業に着手。
 1889年(明治22年) 地方制度の改革である市制、町村制が施行され、連合戸長役場制によって連合した13か村で、「富里村」を形成。ここに新しく「**富里村**」が誕生。
 1911年(明治44年) 十倉(二区)の開拓事業開始。富里村青年会発足。

大正

1912年(大正元年) 末廣農場開場。(①)

1913年(大正2年) 十倉(三区)の開拓事業開始。成田ー多古間に県営の軽便鉄道が開通し、両国と実の口に停車場が設けられた。
 1922年(大正11年) 下総種畜場が、御料牧場官制の廃止により、「宮内省下総牧場」と改称された。

昭和

1927年(昭和2年) 県営軽便鉄道が、民間の成田電気軌道株式会社に引き継がれ、根本名、川津場、高野、十倉、古込などに、新しく停車場が設置された。
 1933年(昭和8年) 富里ですいかの栽培が始まる。
 1936年(昭和11年) 皇室へ「富里すいか」を献上。以後、すいかの特産地としての地位を着々と築く。(②)
 1939年(昭和14年) 成田電気軌道株式会社が撤退し、村内から軽便鉄道が姿を消す。
 1942年(昭和17年) 下総牧場が「下総御料牧場」に改められ、馬の繁殖事業が盛んになる。
 1946年(昭和21年) 農地解放により、下総御料牧場、末廣農場、吉川牧場(山林)、軍用飛行場(現在の十倉(四区))などに、戦災者、復員軍人、外地引き揚げ者が開拓民として入植。
 1948年(昭和23年) 富里村農業協同組合発足。農業共済組合結成。
 1963年(昭和38年) 新空港の候補地として、富里・八街地区が公表され、「富里村空港設置反対期成同盟」が結成される。
 1965年(昭和40年) 富里の秋冬物白菜に対し、国が「野菜産地」として指定。



④役場新庁舎完成(昭和50年)



⑤町制施行記念パレード(昭和60年)

1966年(昭和41年) 新空港の建設予定地として、「富里案」に替わり「三里塚案」がクローズアップされ、後に閣議決定。富里村商工会が正式に発足。
 1968年(昭和43年) ウイルス病が蔓延し、富里すいかが壊滅的被害を受ける。
 1969年(昭和44年) 富里村章を制定。新空港の建設計画に伴い、宮内庁下総御料牧場が閉鎖。
 1970年(昭和45年) 高野地先に「富里工業団地」が造成される。村の木を「山ざくら」に決定。
 1971年(昭和46年) 東京方面と新東京国際空港(現成田国際空港)を結ぶ、「東関東自動車道」が富里インターチェンジまで開通。(③)
 1972年(昭和47年) 浩養幼稚園開園。
 1973年(昭和48年) 富里幼稚園開園。
 1974年(昭和49年) 学校給食センター第一調理場完成。葉山保育所開設。
 1975年(昭和50年) 村営水道事業給水開始。富里村役場新庁舎完成。(④)
 1976年(昭和51年) クリーンセンター完成。
 1978年(昭和53年) 日吉台小学校開校。新東京国際空港開港。富里村5カ年計画を策定。
 1979年(昭和54年) 成田都市計画区域に編入、都市計画を決定。富里村消防本部・署(常備消防組織)発足。
 1981年(昭和56年) 保健センター完成。
 1982年(昭和57年) 第一小学校新校舎完成。向台幼稚園開園。
 1983年(昭和58年) 富里村総合計画策定。富里北中学校開校。富里中央公民館完成。
 1984年(昭和59年) 学校給食センター第2調理場完成。水道事業所完成。根本名小学校開校。非核平和都市宣言。社会体育館完成。

1985年(昭和60年) 町制施行で「**富里町**」が誕生。(⑤)人口は3万2,750人。町民憲章制定。町の花を「カキツバタ」に制定。交通安全都市宣言。消防署・消防本部の庁舎が完成。
 1986年(昭和61年) 県立富里高等学校開校。富里南中学校開校。富里町行政改革大綱決定。一部区域で公共下水道供用開始。
 1987年(昭和62年) 福祉センター完成。
 1988年(昭和63年) 富里幼稚園移転、新園舎完成。町のシンボルカラーを「ライトグリーン(DIC132)」に決定。

平成

1989年(平成元年) 富里誕生100周年。富里中央公園完成。
 1990年(平成2年) 国道409号バイパス開通。
 1991年(平成3年) 富里町総合計画を策定。第2回全国市町村ホースサミットが富里町で開催。
 1992年(平成4年) 富里北部コミュニティセンター完成。八富成田斎場(成田市吉倉)完成。
 1993年(平成5年) 消防署北部出張所開所。七栄小学校開校。
 1994年(平成6年) 日吉台警察官派出所が設置される。富里中央公園湿生植物園開園。
 1995年(平成7年) 富里中学校屋内体育館完成。中部ふれあいセンター完成。
 1996年(平成8年) 富里中央公園全面オープン(四季の森完成)。(⑥)
 1997年(平成9年) 富里ふるさと自然公園完成。
 1998年(平成10年) 富里町シルバー人材センター設立。町の花が「サルビア」に変更。
 1999年(平成11年) 消防署北部出張所の新庁舎完成。消防署北分署に改称。
 2000年(平成12年) 町老人福祉計画・介護保険事業計画を策定。町公式ホームページ開設。町ポイ捨て防止条例を施行。国勢調査で人口5万人突破。
 2001年(平成13年) 人口5万人突破記念 小学生議会開催。富里町総合計画を策定。富里町情報公開条例の施行。



①末廣農場開場記念祭(大正元年)



②皇室へ「富里すいか」を献上(昭和11年)



③富里インターチェンジの開通(昭和46年)



⑥富里中央公園オープンフェスティバル(平成8年)